

まちひとしごと

Vol. 47

マウンテンガイド・コヨーテ

代表 古市 竜太 さん

美しい自然を 次の世代に残せるように



自

然の楽しみ方を人々に伝える
アウトドアガイドとして活動
する古市竜太さんは、祖父の影響
で幼少期から山や川などの自然と
触れ合ってきた。

千葉県出身の彼は、関東の大学
を卒業後、環境や食に関わる仕事
がしたいと道内の農業関係の企業
に就職。倶知安町への異動をきつ
かけにこの土地に魅了され、アウ
トドアガイドへの転職を決めた。
現在はマウンテンガイド・コヨー
テの代表として、夏は登山、冬は
バックカントリースなどのガイドと
して活動している。

「ガイドを始めるにあたってい

ろいろな土地を訪れましたが、こ
こへ帰ってくるたびに、やはり良
いところだなと感じていました。
そして、何より自分の好きな場所
でガイドをやりたいと思い、この
地域で始めることにしました」

『教える』のではなく『一緒に
楽しむ』。お客さんには、安心・
安全に自然を楽しんでもらいたい
と話し、自身が代表を務めるマウ
ンテンガイド・コヨーテでは、『自
然にもプラスとなるプログラムを
行う』という目標を掲げる。

「人が行動すれば、自然にとつ
てはどうしてもマイナスになりま
す。しかし、登山などの体験が自
然や資源の大切さについて考える
きっかけとなり、その後の生活に
活かすことができれば、それは環
境への負荷を減らすことに繋がる
と思います」

古市さんは、倶知安風土館のイ
ベントや小学校での出前授業を通
じて、子どもたちに地域の魅力を
伝えている。美しい環境を未来に
残すために、これからも活動を続
けていきたいと話す。

「子どもたちが自分の故郷につ
いて知ることは、誇りを持ち、よ
り大事にしようという気持ちに繋
がります。百年後も魅力が続くよ

うに、ただ消費する観光ではなく、
お客さん一人一人の顔が思い浮か
ぶ観光を目指していく、そして、
そんなまちづくりに協力したいで
す」

この地域には、さまざまな人を
受け入れる懐の深さを感じるとい
う古市さん。分野を問わず面白い
活動をしている人が多く、彼らと
の交流がとても意味のある時間だ
と話す。また、それぞれの分野で
活躍する仲間との繋がりについて
笑顔で話す姿が印象的だった。

「地域で活動するいろいろな人
たちとの有機的な繋がりを大切に
し、その一員として、まちの魅力
を広めていきたいです」

彼のように自然を思いやり、地
域を愛する仲間の輪が、これから
さらに広がっていくことを願う。